



発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南1-5-40
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>



▲これが未来の労働センターだっ!!

～みんなでワークショップを開きました～

8月10日にワークショップと「当事者から学ぶ」会を開きました。『8月10日のワークショップや吉村さん、高村さんのお話を聴かせていただき、とても勉強になりました。「ともにはたらく」ことについて普段深く考える機会がなく、おれんじ村の良いところ、悪いところ、これからどうして行くかについて考えるきっかけになりました。それぞれの考えや思いを理解でき、普段話さないことについてお互い分かり合って仲を深められ、協力し合えて本当に楽し

かったし充実した時間を過ごすことが出来ました。また、ワークショップを違うテーマでやってみたいと感じました。

吉村さん、高村さんのお話では、以前と今の福祉の状況や暮らし方について知り、考えを深めることが出来ました。「一人の人間」として自由や制限のないのびのびとした暮らし方や沢山の選択肢の中で選択して生きる事を健常者、障がい者関係なく誰もが日々思っていることなんだと改めて実感しました。その中で自分で自分の人生を開拓して自



～当事者から学ぶ会～



信をもち、生きることを望んでいるのだと思いました。「ともにはたらく」「ともに生きる」ことについて考えさせられ、また、自分の中でも、周りの人とでも、考えみようと思っています。

前田佳与

社会体験研修を終えて

託麻西小学校教諭 田中 明日香

3日間のおれんじ村での研修は、自分自身を振り返る3日間でもありました。今回の研修で学んだ事から、学校現場でこれから大切にしていきたいことを述べたいと思います。1つ目は、「安心できる学級を作っていくこと」です。おれんじ村では、色々なことをみんなで話し合い、決めていきます。一人一人が考えることを、良いことだけでなく、改善したいところについても伝え合っています。伝えづらいことも、本音で伝え合える雰囲気があり、どんな考えでも否定せず受け入れようとする思いが伝わってきました。おれんじ村のみなさんの笑顔から、「ココが好きなんだ」という気持ちも伝わってきました。一人一人がそんな思いや気持ちを持って学級を作ることが、「一人一人が安心できる学級」につながっていくと考えています。

2つ目は、「自分に自信を持てる子どもを育てること」です。自尊感情を持って、「よく言われますが、最近では、自分に自信がない、自慢できることがない子どもが多いと思います。自分自身の子どもたちとの関わりを振り返ってみても、よさを見つけたこと、褒めることが十分でなかったと感じました。自分に自信が持てる、自分だけでなく、相手のことをもって大切に考えることができるようになると思っています。共に生きることはお互いを理解すること」という言葉は、「この3日間で心に残っている言葉ですが、自分も相手も大切に、互いに思いやり、助け合い、協力し合えるように子ども達を導いていきたいと思っていますし、私自身もそうありたいと思っています。」

最後になりましたが、「おれんじ村30周年」という節目に、倉田さんをはじめ、おれんじ村のみなさんと出会い、貴重な経験をさせていただいたことに、とても感謝しています。この経験を、2学期からの子ども達への支援に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうメッセージしました。



実習感想

熊本県立大学3年 有働 政宗

本日YさんMさん両名からお話を聞くまで、私は障害を持っている方とじっくり対面で会話したことがありませんでした。両人とも、初対面であるにもかかわらず、学生である私たちに自身の生い立ちや体験など様々な話をして下さいました。

Mさんからは自身が受けた杜絶ないじめの経験を聞き、Yさんからはどのような経緯を辿り一人暮らしをするに至ったのかを聞いた上で、実際に暮らしているお部屋を見せていただきました。各所にこらされてる工夫やデイサービスを利用する際の苦勞など話を聞くだけでは実感できないことを見て体感することができました。

「障害者の人が一人暮らしなんて大変なんじゃないか。施設に入った方が安全だし、家族も安心じゃないか」という思いを特に意識せずに、まるで常識のように抱いていたのです。そんな私をYさんは「介助がいるなら入居施設に入れる」という固定観念が、昔は障害を持った当事者にさえあったとした上で、たかだか30分の見学だけで自分の人生がずつと決めつけられてしまう施設暮らしを避けるには、働いて一人暮らしをする道を選ばれたのだとおっしゃっていました。当然親には反対されたそうです。しかし、Yさんは、できないことを挙げて、反対する周囲を押し切って、自由に生きる道を選んだと言っておられました。私も家族や友人に障害を持った人間がいて、その人が一人暮らしを始めると言ったら、きっとYさんの周りにいた人々と同じ反応をしてしまったことでしょう。

自分が正しいと思っていることが、その実、相手にとっては決意に文句つけられる行為に他ならないのです。完全に相手の立場から物事が見えていませんでした。障害を持っている方々を一律に見てしまい、個々人のことを考えることをしていませんでした。Mさんのお話でも個々人の事情を知ろうとせず、特殊学級にいた生徒と同じ問題を出した先生がいましたが、その人と同じような感覚でいたのです。一応、私にも「これを聞いた失礼にあたるんじゃないか」とか「この方にはこうした方がいいんじゃないか」という配慮をしようとする考えはありましたが、その意識が逆に自分を練ってしまっ、言動に制限がかかっていました。Yさんがいつも抱かれていたという「あまり講えずがないで」のアドバイスがびったりと当てはまる状況に陥っていたのです。Mさんは「障害者だろうと、健常者だろうと、できないことはある。できないことができないだけなのだから、人に頼ろうとおっしゃっていいです。私は今日まで相手のことを過剰に意識するあまり、行動を起こせなかったことが多々ありました。明日からはまず相手に対して壁を作ってしまうのではなく、最初はとりあえず相手のことを知り自分の

ことを知った上で、お互いのできることでできないことを共有して、助け合っていこうと思います。

私は今、教職に就こうか迷っています。元々、優柔不断な性質ですが、今回のお話を聞いて人と接するということについて、改めて真剣に悩まなければならぬと思います。

実習生がきたばい

実習生 村上 巧美

2週間の感想は販売と製造をしました。色々売れることが出来ました。販売をする事が出来て1万まで超えることが出来ました。支援学校と小学校の先生達が買って頂いて嬉しかったです。製造でお菓子作りをしました。サーターアンドギーとシフォンケーキと焼かりんとうをきれいに作る事が出来ました。朝から自分でトイレ掃除と灰皿掃除とゴミ拾いと草取りをきれいに村がピカピカになりました。がんばりました。M先輩と一緒に掃除をしました。3時まで仕事をがんばることができました。

●おれんじ村の仕事で一番楽しかった仕事は
販売がたのしかったです。製造がたのしかったです。トイレ掃除がたのしかったです。灰皿掃除と草取りがたのしかったです。

●おれんじ村の仕事で一番難しかった仕事は
販売では、おつりを渡すことが出来て、計算がむずかしかったけど、できました。製造でお菓子作りが、サーターアンドギーが丸めることが、難しかったです。測ることが難しかったです。焼かりんとうを切ることが難しいことができました。シフォンケーキが作る事が出来ずにまぜるのが難しかったです。

●夢
販売の仕事がしたいです。お給料が買いたいです。立派な大人みたいです。なりたいたいです。製造のお菓子作りがしたいです。カフェの仕事がしたいです。



きれいなピッカピカナイス!(^^)!

～県人教・市人教大会に参加～



● 崇城大学市民ホールで公演しましたー(^o^)/ 2回目講演!!

崇城大学市民ホールに於いて熊本県人権教育研究協議会及び熊本市人権教育研究会「課題別研究会」がありました。そこで、労働センターの「おれプロ」が公演をしました。



熊本市人権教育研究大会に 行ってきました

金森 央祐

みなさんこんにちははミッキーボーイです。8月18日に崇城大学市民ホールで行われた熊本市人権教育研究大会で労働センターのみなさんで劇をしました。劇が始まる前はみんな緊張した様子でしたステージで発表されていたみんなからの緊張が伝わってきました。観覧していた僕にまで緊張が伝わってきました。

劇が始まる前にMさんのナレーションが入りそれから劇が始まりました。劇では、普段の全体ミーティングをステージで発表していました。ステージでは自分が学生の時に嫌だった事をステージで発表していました。劇が終わりに近づくと、みんなの緊張がほぐれてきたように感じました。最後に販売の宣伝を劇の中でされていました。無事に劇が終わって良かったです。

僕も中学校の時にトイレでいじめを受けていてとっても辛い思いをしていて苦しい体験をしても親や担任の先生にも相談できませんでした。その頃は、とても悲しい気持ちでした。明るくて笑いの絶えない学生生活を送りたかったのに・・・おれプロの劇は、まるで僕の気持ちを代弁してくれるような内容でした。おれプロの劇を多くの人に観てもらい、一緒に考えてほしいな。



● リハーサル風景



おれプロ公演第2弾!!

大久保 輝一

2015年8月11日、熊本県人権教育研究協議会の課題別研究会「共生の教育」で労働センターの「おれプロ」が劇の公演をしました。障害者って何?と質問を投げかける形で劇は進行しました。私は劇を見ながら改めて様々な思いを抱きました。地域の学校に通う事は、周りの理解や先生の協力を抜きには厳しい現実があると思いました。介助を要求される親さん、現実が変わっていない障害者差別。1日学びながら、家族に対しての介助の強制がない学校が必要ではないのかと考えました。私も交流学級の授業を受けて、これって差別だよね・・・と大人になり気づきました。

「障害を理由に分ける事ってなんだろう」改めて考えてしまいます。分けられないこと、地域で生きることが当たり前になればいいなと考えた一日でした。販売はすべて完売し、皆でばんざいをしました。ほんと一安心の一日でした。今後とも、おれプロ一座をよろしくお願い致します!!



● みんな~こっち向いて~(ちなみに全部完売しました)

NEW!

どこにも売っていない・ここだけのカレンダー

2016年版 おれんじ村の詩 筆おろしカレンダー

手すき紙バックリサイクル紙使用。

今年もあと2か月。早いもので、来年のカレンダーを販売する時期となりました。労働センターからのメッセージをリサイクル紙にのせてお届けします。

おれんじ村のオリジナル月めくりの卓上カレンダー、宜しくお楽しみ——す(^_^)

紙のみ 900円

板付き 1260円

紙の大きさ：100mm×148mm



新人登場!!



前田佳与さん
まえだかよ

♪7月からおれんじ村でお世話になっている前田佳与です。普段は大学生として生活しています。♪趣味は音楽鑑賞、テレビを見ること、ライブに行くこと。♪仕事は沢山の方と出会い、会話をして輪が広がれば、と思っています。仕事はとても楽しいです。♪好きな芸能人 KAT-TUN、INKT、DREAMS COME TRUE、赤西仁、中森明菜などなど…♪主にカフェで働いています。沢山の人と出会い、話し、笑顔になれる楽しい場だと思っています。周りの方もすぐに話しかけてくれて元気が出ます。やっと見つかったとても居心地の良い環境だと感じています。

これからも楽しみながらしっかり仕事を頑張っていきたいです。宜しくお楽しみします。

おれんじ村の
ORANGE CAFE
イベント情報

9月24日(木)

★ 10月31日(土)

託麻台病院のたくま会(失語症友の会)さんの押し花展を行っております。

～作者さんより～

散歩で見付けたお友達に頂いた、旅先で見付けたそんな思い出をカタチに残しています。

～作者さんのステキな思い出を感じてみませんか?～



NEW!

ハロウィン限定ギフト in おれんじ村 vol.4

- ◆ かぼちゃクッキー ◆ おぼけのプレーンクッキー
- ◆ チョコチップクッキー ◆ カフェオレナッツクッキー



TRICK or TREAT!!

500 yen (税込)



編集後記

こんにちは、8月にあった市人教大会で、おれプロが公演し、僕も初発表しました。練習の時よりも本番が一番良かったな〜と思いました。皆さんに僕たちの事を少しでも分ってもらえたら良いと思います。講演を聞いた方が僕たちを呼んでもらえたらなお嬉しいかぎりです。

・ハロウィンイベント(年に一度のお化けのカーニバル)のカレンダー(どこにも売ってない!!)の注文を承っておりますので御注文を首を長くしてお待ちしております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

IT部 E

お礼とお願い

サマーギフトでは沢山の御注文を頂き有難うございました。今年度はその他にも各イベントに合わせたお菓子のセットを販売させて頂きました。紙面上ではありませんが厚くお礼申し上げます。今後はハロウィンセットなど季節に合わせた商品を作っていくように思っています。

また新しくドリップコーヒーの製造・販売を行っていきます。おれんじ村オリジナルブレンドのコーヒーを是非一度ご賞味下さい。沢山の御注文をお待ちしております。

製造部&販売部